

## 新しい経営状況分析にどう対応するのか < 決算期を考えよう >

前回に続き、「流動性」の比率をみていきましょう。

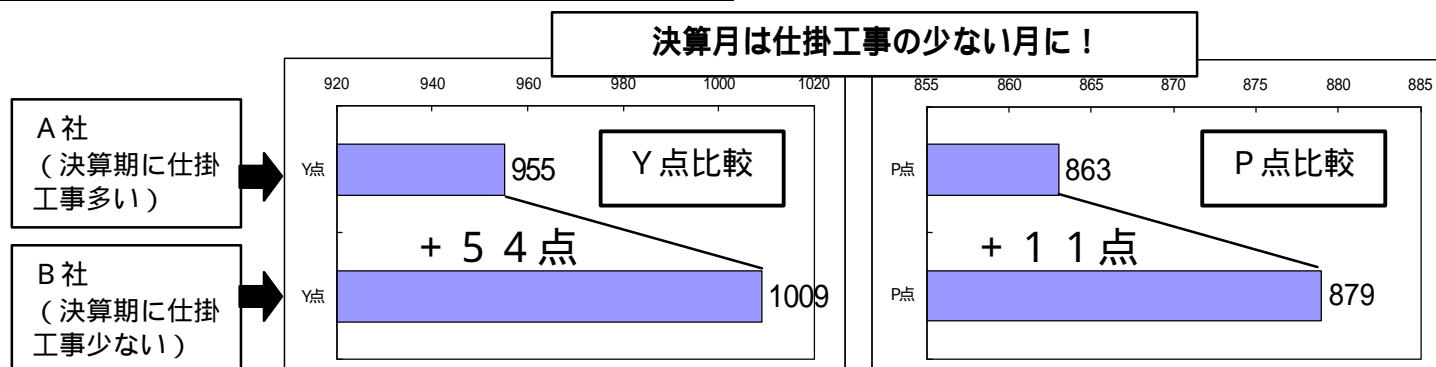
立替工事高比率(X5): (受取手形 + 完成工事未収入金 + 売掛金 + 未成工事支出金 - 未成工事受入金) / (売上高 + 未成工事支出金) × 100

\* この指標は数値が小さいほど、評点にプラスとなります (上限値 0.0、下限値 37.9)

完成工事の部分については、受取勘定月商倍率(X6)と同じと考えられるので、次回に譲り、今回は仕掛工事の部分について考えてみましょう。この計算式と計算値の上限下限からすると、仕掛工事が少ないほど点数が良くなります。未成工事支出金を少なくする方法はいろいろ考えられますが、今回はそのうちのひとつである「決算期」についてとりあげてみます。

皆さんは、何月を決算期末にしていますか。そして、その月を選んだ理由はなんですか。経審対策を考えると仕掛工事の少ない月を決算期とした方がよいのです。さらに、未成工事支出金の金額の割に未成工事受入金(工事前受金)が多い月がベストです。一年のうちにそういう月が必ずあるはずで、では、一つの仮定のもとに比較をしてみましょう。

A社とB社は売上高、利益、その他全てが同じとします。しかし、決算期の違いから未成工事支出金が違います。A社の財務諸表はWise FAXNET99.2月号新社屋なしの会社とします。Y点は955点でP点は土木一式が863点でした。B社の決算期は仕掛工事の少ない時となっているので、未成工事支出金は1億5千万円少なくなっています。そして、未成工事支出金の減少により未成工事受入金9000万円、短期借入金で3000万円、工事未払金3000万円が減少したと仮定します。借入の減少による利息の減少はないものとします。B社はY点が54点上がって1009点となり、P点は11点上がって874点となります。



貸借対照表	A社	B社	A社	B社
現金預金	54,100	54,100	工事未払金	57,800
完成工事未収入金	50,000	50,000	短期借入金	70,000
未成工事支出金	250,000	100,000	未払法人税等	16,300
その他流動資産	40,000	40,000	未成工事受入金	150,000
固定資産	(50,000)	(50,000)	長期借入金	50,000
建物	0	0	資本	100,000
機械運搬具等	50,000	50,000		
土地	0	0		
合計	444,100	294,100	合計	444,100

仕掛工事の多い時期を決算期にして毎年苦勞するのは考え物です。経審対策ソフト「Wisdom 99オートシミュレーションシステム(今夏発売予定)」では、ボタンを押すとこのシミュレーションが簡単にできる工夫をしております。ご期待下さい。

WISENET編集部  
 松村 清(税理士)

## Wisdom99 経審点数計算システム (99年改正改正経審完全対応版) 発送開始!

大変お待たせしました。試供版のご注文をいただいたお客様から順次発送をしていきます。

資料請求  
 注文希望 (注文用紙を送付します。)

\* “試供版” をご注文いただいているお客様はこの用紙でのご注文は必要ありません。“試供版” ご注文のお客様全員に“完全対応版” を発送いたします。

資料請求・ご注文は上欄に必要事項を記入の上、FAXにて当社までご返送下さい。

FAX.0269-65-4745

下記にご連絡先をご記入下さい。ユーザー様で前回登録時と変更のない場合には、貴社名と担当者名、TELのみをご記入下さい。

貴社名	
ご担当者様	ご役職・部署名
ご住所(商品送付先) 〒	
TEL	FAX
e-mail	決算月